

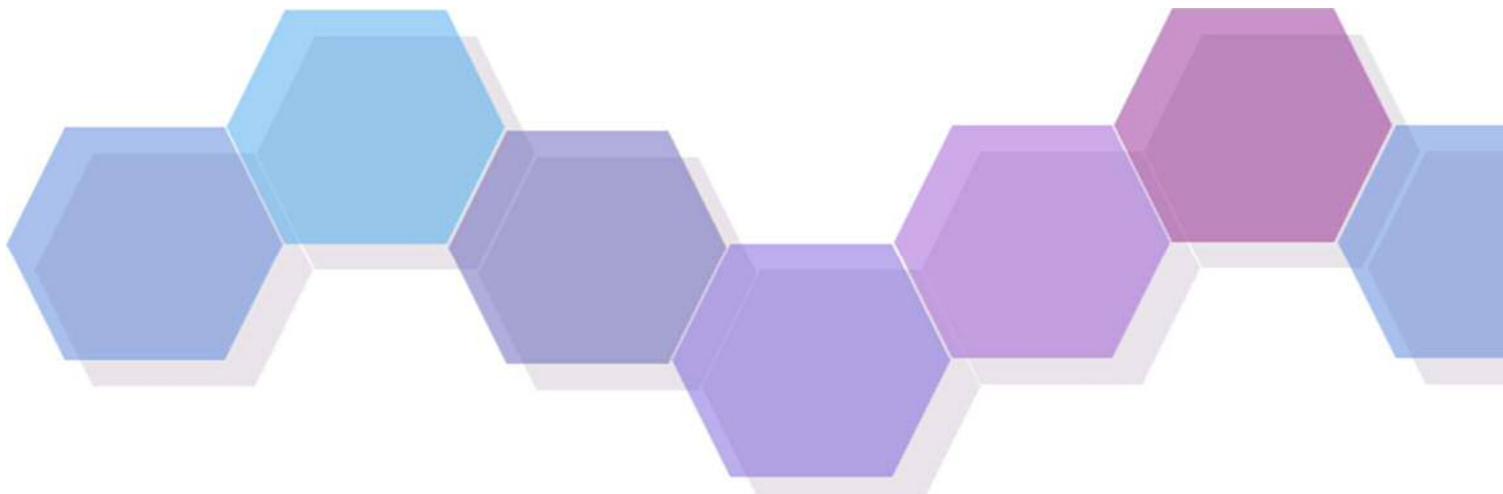


4 / 8 / 16 / 32 CH

## PoE NVR 取扱説明書 【基本操作編】

SCL-N004P01/02, SCL-N008P01/02

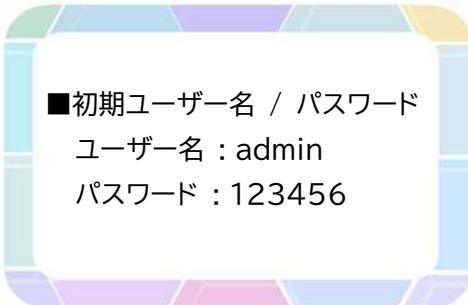
SCL-N016P01/02, SCL-N032P01



製品ご購入ありがとうございます。  
ご使用の前に本取扱説明書をお読みください。  
内容は予告なく変更される場合があります。

**▲ 注意**

- ◆ デバイスを安全に正しくご使用いただくため、取扱説明書を熟読ください。
- ◆ 本取扱説明書の内容すべてが正しい保証はありません。内容は予告なく変更される場合があります。
- ◆ 本デバイスはラベル記載の電源でのみご使用ください。ご使用前に電圧をご確認ください。  
長時間使用しない際は、コンセントからプラグを抜いてください。
- ◆ 本デバイスをラジエーター、ヒート・レジスター、ストーブなど熱源の近くに設置しないでください。
- ◆ 本デバイスを水の近くに設置しないでください。掃除は乾いた布でのみ行ってください。
- ◆ 換気口を塞がず、機械周りについてはよい換気を確保してください。
- ◆ 通常録画状態で DVR の電源を落とさないでください。  
正しい手順：①録画停止、②メニューバー右の「電源オフボタン」押す、③電源を落とす
- ◆ 本製品は屋内用です。機械を雨や湿気にさらさないでください。  
固定や液体は筐体内に侵入した場合は、直ちに電源を落とし、  
再起動する前に資格のある技術者に機械チェックをお願いしてください。
- ◆ 整備については資格のある整備員にご連絡いただき、技術サポート/承認を得てください。  
ご自身での修理は、いかなるパーツについてもご遠慮ください。
- ◆ 本取扱説明書は、SCL-N004P01 / N008P01 / N016P01 / N032P01 用です。



※本製品にHDDがキッティングされている場合、HDDの保証期間は3年です。

## 目次

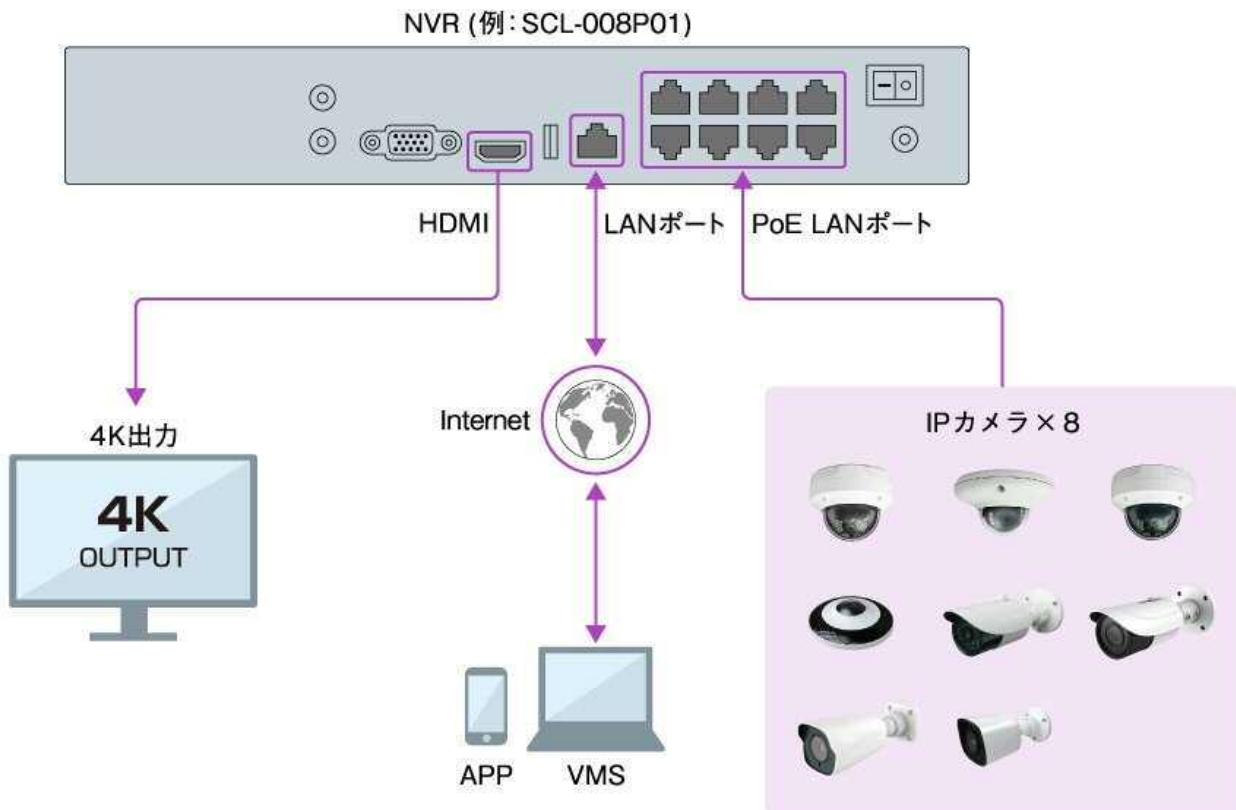
<b>1. 特徴</b>	5
1.1. 主な特徴	5
1.2. 接続配線	6
1.3. 背面パネル	6
1.4. マウスコントロール	8
<b>2. 基本操作</b>	9
2.1. 起動	9
2.2. シャットダウン	9
2.3. 初期設定	9
2.3.1. 基本設定	9
2.3.2. ウィザード設定	10
2.4. メインインターフェース	14
2.4.1. メインインターフェースについて	14
2.4.2. 設定パネルについて	16
<b>3. カメラ管理</b>	17
3.1. カメラ追加	17
3.1.1. カメラ追加画面	17
3.1.2. クイック追加	17
3.1.3. 手動追加	17
3.1.4. Viewla シリーズの追加	18
3.2. カメラ編集	19
3.3. 循環表示グループの追加	20
3.4. 循環表示グループの編集	20
<b>4. ライブ表示</b>	21
4.1. プレビュー表示	21
4.2. ディスプレイモード	23
4.2.1. ディスプレイモードの追加	23
4.2.2. ディスプレイモードの編集	25
4.3. 循環表示	26
4.3.1. クイック循環表示	26
4.3.2. グループ循環表示	26
4.3.3. パターン循環表示	27
4.4. 画像設定	29
4.4.1. OSD 設定	29
4.4.2. 画像設定	30
4.4.3. マスク設定	31
4.4.4. フィッシュアイ設定	31
4.4.5. オーディオ設定	32
4.4.6. 画像調整	32

<b>5. PTZ 機能</b>	<b>34</b>
5.1. PTZ 制御画面	34
5.2. プリセットの設定	35
<b>6. 録画とディスク管理</b>	<b>36</b>
6.1. 録画設定	36
6.1.1. モード設定	36
6.1.2. 自動モードの種類	37
6.1.3. 自動モードの設定	38
6.1.4. 手動モード	39
6.1.5. 詳細設定	39
6.2. スケジュール設定	40
6.2.1. スケジュール追加	40
6.2.2. 録画スケジュールの設定	42
6.2.3. 録画スケジュールの編集	43
6.3. 録画モード	44
6.3.1. 手動録画	44
6.3.2. スケジュール録画	44
6.3.3. 動体検知録画	44
6.3.4. センサー録画	44
6.3.5. スマート検知録画	45
6.4. HDD 管理	45
6.4.1. HDD 管理	45
6.4.2. 記録モードの構成	47
6.4.3. HDD 情報と S.M.A.R.T. 情報	48
<b>7. 再生とバックアップ</b>	<b>49</b>
7.1. 即時再生	49
7.2. 再生インターフェース	50
7.3. 録画検索、再生とバックアップ	53
7.3.1. タイムスライス画像検索による再生とバックアップ	53
7.3.2. 日時検索による再生とバックアップ	55
7.3.3. イベント検索による再生とバックアップ	56
7.3.4. タグ検索による再生とバックアップ	56
7.3.5. 画像管理	57
7.3.6. バックアップ状態の表示	57

## 1.1. 主な特徴

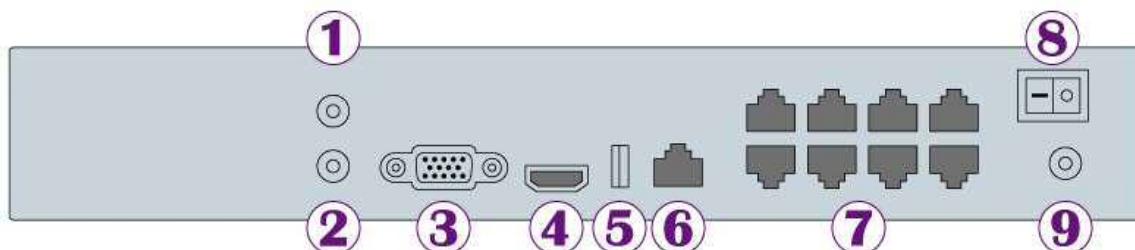
- ◆ リアルタイム監視
- ◆ 高解像度 VGA 出力と HDMI 出力
- ◆ 双方向音声
- ◆ 3G モバイル監視(iPhone / iPad / Android)
- ◆ 最新 H.265 による映像圧縮、映像品質、低圧縮率
- ◆ ストレージ:
  - Type1 (4CH/8CH): 1 SATA HDD 対応
  - Type2 (32CH) : 8 SATA HDD (FAT32 file system) and 1 e-SATA 対応
  - Type3 (16CH/32CH) : 4 SATA HDD (FAT32 file system) 対応
- ◆ 無制限長時間録画に対応
- ◆ USB メモリでデータをバックアップ。1 ファイル容量は 128MB
- ◆ 録画解像度、フレームレート、品質調節可
  - 8 MP / 5MP / 4MP / 3MP / 1080P / 960P / 720P
- ◆ マルチレコードモード: 手動、スケジュール、センサー、モーション
- ◆ HDD リサイクル録画
- ◆ 同時複数録画再生
- ◆ 録画ファイル保護ロック
- ◆ 音声入力端子 x1、音声出力端子 x1
- ◆ 16 チャンネル警報入力(16CH/32 CH)/4 チャンネル警報出力(16CH/32CH)
- ◆ モーション検知
- ◆ イベント前後録画
- ◆ チャンネル関連トリガー録画
- ◆ パンチルト制御
  - マルチ・パンチルト・プロトコル対応
  - プリセットポイント 128 件、クルーズ 8 件プログラム対応
  - 関連トリガー・プリセット・ポイント制御
- ◆ オーソリティ・アカウント設定
- ◆ USB マウス操作
  - フレンドリー-GUI での USB マウス制御
- ◆ 録画検索モード: 時間/イベント
- ◆ イベントログと検索
- ◆ 対応ネットワーク機能
  - マルチ接続タイプ: STATIC (固定 IP), DHCP, PPPOE
  - DDNS / NAT (P2P network penetration function) 対応
  - イベント・トリガー Email 送信対応
  - 遠隔接続制限
  - ネットワーク状態に応じた自動帯域調節
- ◆ ネットワーク遠隔制御対応
  - 遠隔録画、遠隔再生、遠隔 PTZ 制御、遠隔設定、遠隔 IE 監視、遠隔 CMS 制御、遠隔 EMAP 制御、遠隔カメラ色調整、遠隔スナップショット、CoC(Control over Coax)による外部制御

## 1.2. 接続配線



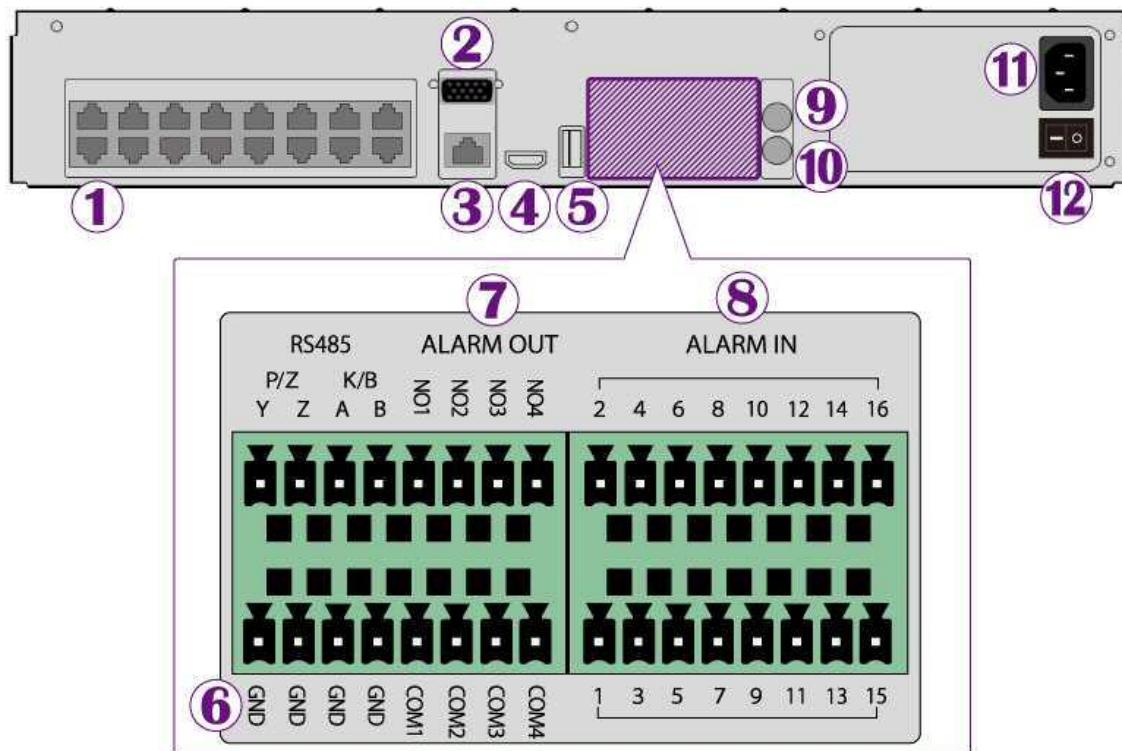
## 1.3. 背面パネル

### ❖ SCL-N004P01 / N008P01



① AUDIO OUT	1CH 音声出力、サウンドボックス接続
② AUDIO IN	1CH 音声入力
③ VGA	VGA 出力ポート。モニター接続用
④ HDMI	HDMI 出力ポート。高精細ディスプレイデバイスへの接続用
⑤ USB	USB マウスや USB ストレージデバイスなど外部 USB 接続用
⑥ LAN	ネットワークポート
⑦ PoE	PoE LAN 入力ポート。4 ポート (4 CH) / 8 ポート(8 CH)
⑧ 電源スイッチ	電源 ON/OFF
⑨ DC48V	DC48V 電源入力端子

❖ SCL-N016P01 / N032P01



① PoE	PoE LAN 入力ポート。16 ポート (16 CH/32 CH)
② VGA	VGA 出力ポート。モニター接続用
③ LAN	ネットワークポート
④ HDMI	HDMI 出力ポート。高精細ディスプレイデバイスへの接続用
⑤ USB 3.0	USB マウスや USB ストレージデバイスなど外部 USB 接続用
⑥ GND	接地ワイヤ挿入用
⑦ ALARM OUT	4 CH、リレー出力。外部アラーム接続
⑧ ALARM IN	16 CH、外部センサー対応
⑨ AUDIO OUT	1 CH 音声出力、サウンドボックス接続
⑩ AUDIO IN	1 CH 音声入力
⑪ AC 電源	AC100~240V 電源入力
⑫ 電源スイッチ	電源 ON/OFF

## 1.4. マウスコントロール

### ❖ ライブプレビュー再生インターフェース

ライブプレビュー再生インターフェース時、カメラウィンドウをダブルクリックするとシングル・スクリーン・モードになります。再度ダブルクリックすると元のサイズに戻ります。

ライブプレビュー再生インターフェース時、マウスを画面下に移動するとツールバーが表示されます。マウスを一定時間ツールバーから離すとツールバーは消えます。マウスを画面右に移動するとパネルが表示されます。マウスを一定時間パネルから離すとパネルは消えます。

### ❖ 文字入力

マウスを文字入力ボックスへ移動し、ボックスをクリックします。入力キーボードが自動的に開きます。



## 2. 基本操作

ユニットの電源を ON にする前に、すべての接続が適切であることをご確認ください。正しい起動・シャットダウンは製品寿命に直結します。

### 2.1. 起動

Step 1:出力表示デバイスを NVR の VGA/HDMI インターフェースに接続してください。

Step 2:マスト電源を接続してください。デバイスがブートし、電源 LED が青くなります。

Step 3:ウィザード・ウィンドウが開きます(NVR 初回仕様時に言語を選択してください)。

### 2.2. シャットダウン

マウスでデバイスの電源を落とすことができます。

Step 1:[シャットダウン]をクリックし、シャットダウン・ウィンドウへ。

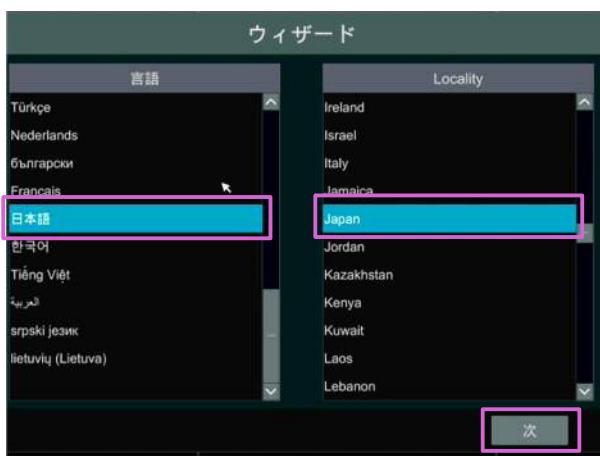
[シャットダウン]を選択し、[OK]ボタンを選択してください。

Step 2:「電源を切ってください」と表示されたら、本体背面の電源ボタンを押してください。

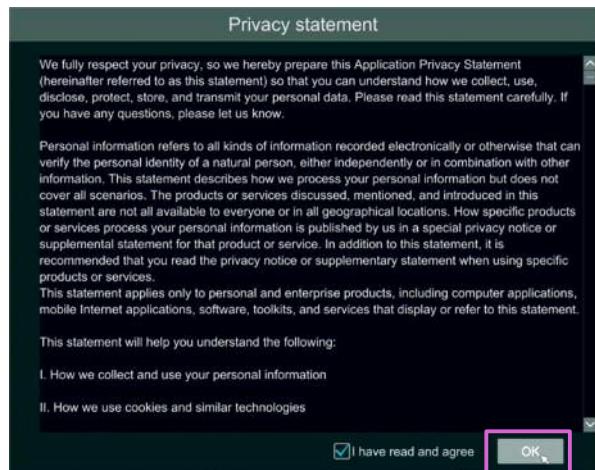
Step 3:電源を抜いてください。

### 2.3. 初期設定

#### 2.3.1. 基本設定



① <言語>と<地域>を選択し、[次]をクリックします。



② <プライバシーステートメント>が表示されたら、下部の「規約を読んで同意する」にチェックを入れ、[OK]をクリックします。



③ 時刻設定を確認し、[次]をクリックします。



④ 管理者パスワードを設定します。

〈自動ログイン〉にチェックを入れます。

※〈自動ログイン〉を有効にすると、NVR 起動時に自動的にログインします。

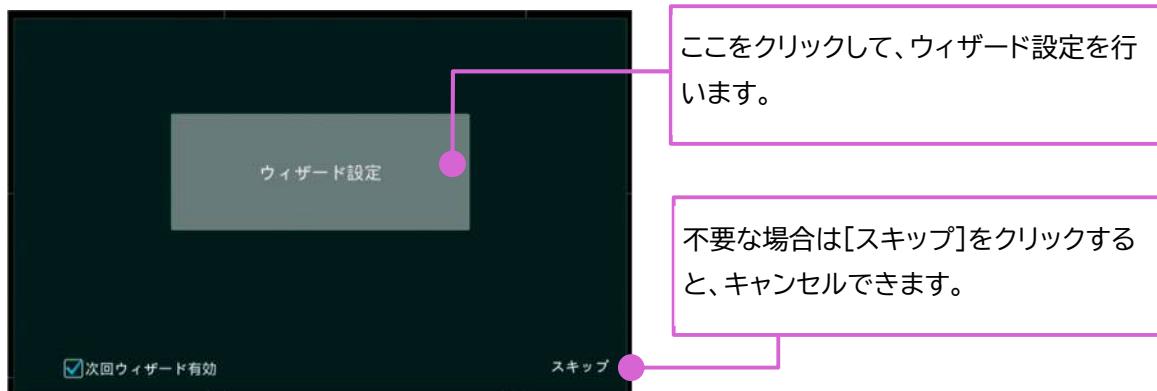


⑤ [初期化]をクリックするとディスクのフォーマットができます。

[次]をクリックし、次のページに進みます。

### 2.3.2. ウィザード設定

NVR の通常稼働は、NVR 設定で簡単に設定できます。NVR の初めて使用する場合は、ウィザードを設定する必要があります。



[ウィザード設定]をクリックしてウィザードを開始します。設定手順は次のとおりです。

## 1. ネットワーク設定



### ① 同一 LAN 内のルーターが DHCP 有効の場合

<IP アドレスを自動的取>と<DNS 自動取得>にチェックを入れます。

### 同一 LAN 内のルーターが DHCP 無効の場合

<IP アドレスを自動的取>と<DNS 自動取得>にチェックを外し、入力の必要な項目を手動入力します。

### ② HTTP/RTSP/Server ポートを入力します。

NVR を PoE ネットワークポートで使用している場合、<内部イーサネットポート(オンライン)>に状態が表示されます。

### ③ [次]をクリックし、次のページに進みます。

## 2. カメラ追加



### ① [再読込]をクリックすると、NVR に接続されている Secula シリーズの IP カメラがすべて表示されます。

※Viewla シリーズや当社製 ONVIF 対応カメラの場合  
NVR に接続する前に、IP アドレスを上位ネットワークに合わせて固定する必要があります。

画面上部に IP アドレスが固定された Viewla シリーズまたは ONVIF 対応カメラが表示されます。右端の[+]をクリックし、画面下部のリストに追加します。

### ② [次]をクリックし、次のページに進みます。



### ■ 追加済みの IP カメラ情報の編集

をクリックすると、IP カメラ情報の編集ができます。

編集可能項目は<IP アドレス><サブネットマスク><ゲートウェイ><カメラのユーザー名/パスワード>です。

編集が完了したら[OK]をクリックして設定を保存します。



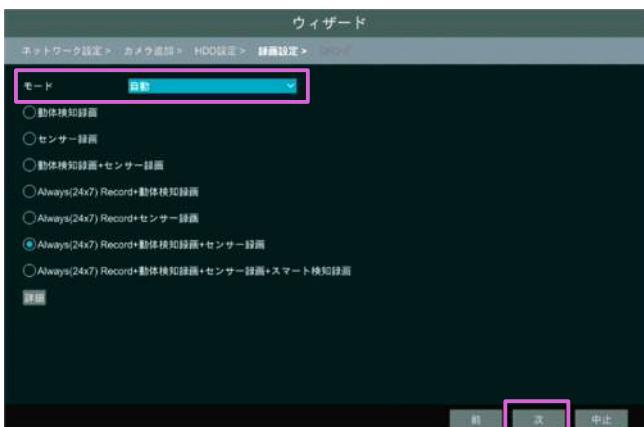
## ■ 手動追加前のIPカメラ情報の編集

をクリックすると、同一 LAN 内にある追加前のIPカメラ情報を編集できます。編集可能項目は<IPアドレス><サブネットマスク><ゲートウェイ><カメラのユーザー名/パスワード>です。カメラがオンラインの場合のみ<カメラ名>の変更ができます。

編集が完了したら[OK]をクリックして設定を保存します。

### 3. 録画設定

<自動><手動>の2種類の録画モードがあります。



## ■ 自動

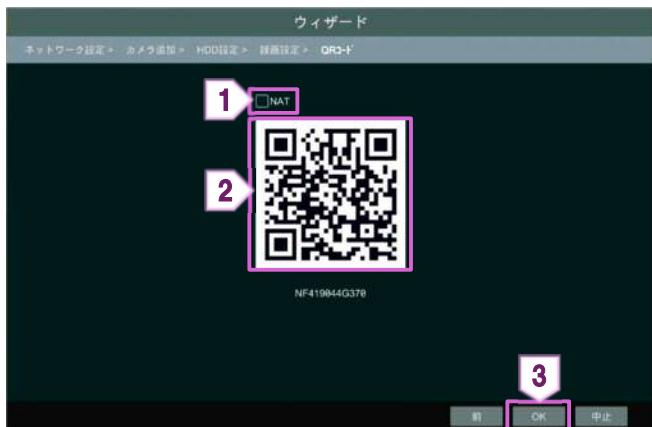
左図のように、<自動>を選択します。  
録画の種類を1つ選択後、[次]をクリックし、次のページに進みます。



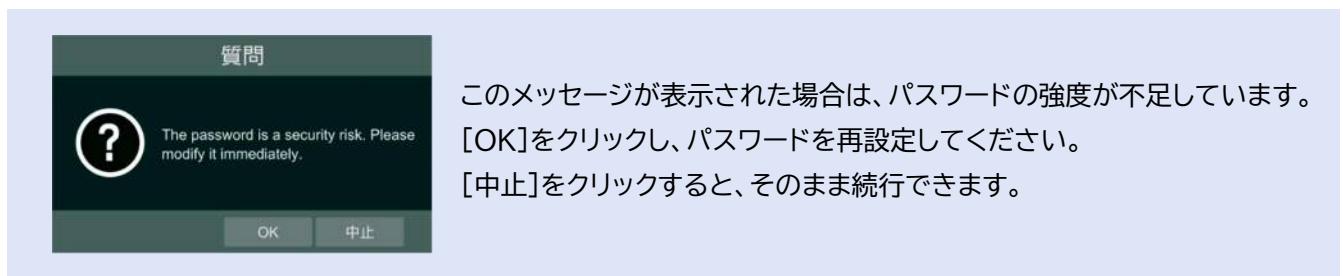
## ■ 手動…IPカメラ1台ずつの録画設定ができます。

左図のように、<手動>を選択します。  
<センサー録画><モーション録画><スケジュール録画>をそれぞれ設定します。  
[次]をクリックし、次のページに進みます。

#### 4. QR コード



- ① 遠隔地から映像を視聴する場合は、必ず〈NAT〉にチェックを付けてください。
- ② スマートフォンやタブレットに「Super Live Plus」アプリをインストールし、QRコードを読み込むと簡単に NVR を登録できます。
- ③ [OK]をクリックして、ウィザードを終了します。



このメッセージが表示された場合は、パスワードの強度が不足しています。  
[OK]をクリックし、パスワードを再設定してください。  
[中止]をクリックすると、そのまま続行できます。

## 2.4. メインインターフェース

### 2.4.1. メインインターフェースについて



ボタン	機能
	[スタートボタン] クリックするとメニューが開きます。
	[全画面ボタン] 全画面表示の有効/無効を切り替えます。
	[画面モードボタン] (カメラモデルによって異なります)
	[停止ボタン]
	[OSD ボタン] スクリーン表示の有効/無効を切り替えます。

ボタン	機能
	[録画再生ボタン] から、デフォルト再生時間の設定や、録画再生画面へ移動します。 から、録画再生画面へ移動します。
	[手動録画ボタン] 録画有効/無効の切り替えをします。
	[手動アラームボタン] 選択ウィンドウのアラーム出力を作動/解除を切り替えます。
	[録画状態ボタン] 録画状態を確認できます。
	[アラーム状態ボタン] アラーム状態を確認できます。
	[ディスク状態ボタン] ディスクと RAID 状態を確認できます。
	[ネットワーク状態ボタン] ネットワーク状態を確認できます。
	[情報ボタン] システム情報を確認できます。



項目	機能
カメラ	カメラリストに追加したすべてのカメラが確認できます。画面左のカメラを1台選び、ダブルクリックすると、選択ウィンドウでカメラの映像が視聴できます。
カメラシーケンス	グループリストに追加したすべてのグループが確認できます。画面左のカメラを1台選び、グループリストにある1つのグループをダブルクリックすると、選択ウィンドウでカメラを1台ずつ再生できます。
ディスード変更	ディスプレイモード内の全てのディスプレイモードが確認できます。リスト内の任意のディスプレイモードをダブルクリックするとモードを切り替できます。



ボタン	機能
admin	現在のログインユーザーを表示します。
検索とバックアップ	録画検索画面/バックアップ画面へ移動します。
再生	再生画面移動します。(デフォルト再生時間の設定は画面下の ▶ から行います。)
設定	設定パネルを開きます。
ログアウト	ログアウトします。
終了	ログアウト/再起動/シャットダウンが選択できます。

## 2.4.2. 設定パネルについて



メニュー	内容
カメラ	カメラの追加や編集をする際に使用します。
録画	録画の画質設定やスケジュールを設定する際に使用します。
Alarm	動体検知等の設定をする際に使用します。
HDD	HDD の管理を行う際に使用します。
ネットワーク	ネットワークを設定する際に使用します。
ユーザー権限	ユーザーの追加や編集、パスワードの編集を行う際に使用します。
システム	システム設定を行う際に使用します。

### 3. カメラ管理

#### 3.1. カメラ追加

※ IP カメラを追加するには、予め NVR のネットワーク設定が必要です。

##### 3.1.1. カメラ追加画面

準備:以下のどちらかの手順で、カメラ追加の画面を開きます。

◆ 設定パネルの[カメラの追加]をクリック

◆ ウィンドウの右上にある+をクリック



##### 3.1.2. クイック追加

NVR に直接接続された IP カメラは、自動的にカメラリストに表示されます。



- ① 追加するカメラにチェックを入れます。
- ② をクリックすると、<IP アドレス><ユーザー名><パスワード>等の編集を行えます。
- ③ 画面右下の[追加]をクリックします。

##### 3.1.3. 手動追加



- ① [手動追加]を選択します。
- ② <IP アドレス><ポート><ユーザー名><パスワード>を入力し、<プロトコル>を選択します。
- ③ [テスト]をクリックし、入力情報が有効か確認します。
- ④ 画面右下の[追加]をクリックします。

### 3.1.4. Viewla シリーズの追加

Viewla シリーズをNVRに追加するには、予めカメラのIPアドレスを固定してください。

NVR の PoE ポート接続の場合： NVRのIP設定に従って、カメラの IP アドレスを固定します。

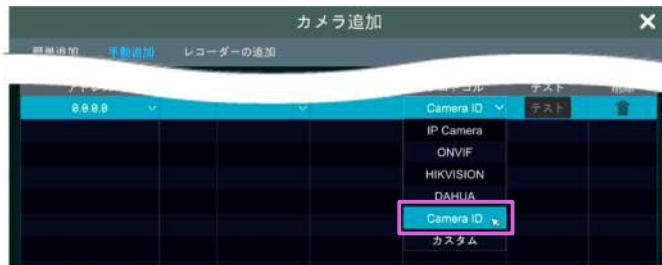
HUB 経由で接続の場合： NVRが接続されているネットワークに合わせて、カメラの IP アドレスを固定します。



- ① [手動追加]を選択します。
- ② 〈プロトコル〉で[カスタム]を選択します。



- ③ 〈カスタム〉画面が表示されたら、〈状態〉を[有効]に設定します。
- ④ 〈表示名〉に「(カメラID)」を入力します。
- ⑤ メインストリーム、サブストリームのそれぞれの(リソースパス)に「(カメラID).(視聴用パスワード)」を入力します。
- ⑥ [OK]をクリックします。



- ⑦ 〈プロトコル〉で作成した[(カメラID)]を選択します。
- ⑧ 【3.1.3 手動追加】の手順に従って、カメラを追加します。

### 3.2. カメラ編集

- ◆ 設定パネルの[カメラ編集]をクリックします。



#### ❖ カメラ編集画面

No.	カメラ名	アドレス	ポート	状態	プロトコル	モデル	プレビュー	編集	更新	バージョン
1	[POE01]06FA01	10.151.151.181	9008	オンライン	IP Camera	D063RW				4.1.1.0
2	IPCamera	192.168.2.107	8999	オンライン	ONVIF	ONVIF				
3	IPCamera	192.168.2.109	80	オンライン	ONVIF	ONVIF				
4	02DB01	192.168.2.110	9008	オンライン	IPC	SCL-02DB01				4.2.1.0
5	[POE05]08DB01	10.151.151.105	9008	オンライン	IP Camera	D041RA				4.1.3.0
6	[POE06]04TD01	10.151.151.155	55498	オンライン	IP Camera	T036QE				4.2.1.0

項目	説明
No.	登録された順に番号が振られます。
カメラ名	カメラ追加時に設定されたカメラの名前が表示されます。
アドレス	カメラ追加時に設定された IP アドレスが表示されます。
ポート	カメラ追加時に設定されたポート番号が表示されます。
状態	カメラの現在の状態がオンライン/オフラインで表示されます。
プロトコル	カメラ追加時に設定されたプロトコルが表示されます。
モデル	Secula シリーズはカメラのモデルが表示されます。
プレビュー	をクリックすると、プレビュー画面が別ウインドウで開きます。
編集	をクリックすると、カメラの名前やオフラインのカメラの IP アドレス等が編集できます。 をクリックすると、カメラを削除できます。
更新	NVR にファームウェアファイルを入れた USB を挿し込み、 をクリックすると、ファームウェア更新ができます。
バージョン	Secula シリーズは、現在のファームウェアバージョンが表示されます。

### 3.3. 循環表示グループの追加



① 設定パネルの[カメラ]をクリックします。

② 画面左上の[カメラグループ設定]をクリックし、画面右上の[グループ追加]をクリックします。

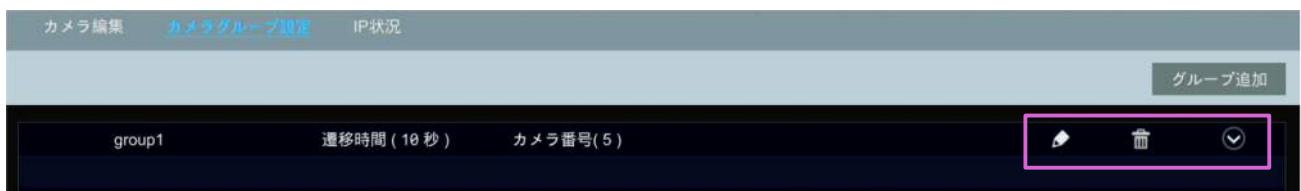
③ <グループ名>を入力し、<遷移時間>を選択します。  
※遷移時間は、循環表示中の各カメラの滞留時間となります。

④ グループにしたいカメラを選択します。

⑤ [追加]をクリックすると、グループが作成されます。



### 3.4. 循環表示グループの編集



ボタン	名称	機能
	名前変更	グループ名および遷移時間を変更します。
	削除	グループを削除します。
	編集	グループに設定されているカメラが表示されます。ここからカメラの追加ができます。

## 4. ライブ表示

### 4.1. プレビュー表示

※予め、カメラリストにカメラを追加してください。

- ① カメラリストからカメラを選択します。
- ② プレビューさせたいウィンドウまでドラッグすると、映像が再生されます。



プレビュー画面の右上に表示されている は録画設定のステータスです。

表示されている色によって設定のステータスが異なります。

(緑)	手動録画の設定中	(赤)	センサー録画の設定中
(黄)	モーション録画の設定中	(青)	スケジュール録画の設定中
(水色)	インテリジェント録画の設定中		

選択されたウィンドウ上でクリックをすると、映像下部にツールバーが表示されます。



#### ❖ 再生画面下部のツールバーについて

ボタン	名称	機能
	手動録画	クリックで手動録画が開始します。
	即時再生	クリックで録画の即時再生ができます。(設定は画面下部の  で行います。)
	音声有効/無効	クリックで音声の有効/無効を切り替えます。
	スナップショット	クリックでスナップショットを撮影します。
	PTZ	PTZ のコントロールパネルが表示されます。
	ズームイン	クリックでデジタルズームインをします。
	フィッシュアイ	インストール(設置)モードとディスプレイ(表示)モードの設定ができます。
	画像調整	クリックで画像調整画面が表示されます。
	双方向音声	クリックで双方向音声通話を開始します。

## 4.2. ディスプレイモード

### 4.2.1. ディスプレイモードの追加

#### ❖ 追加方法 ①

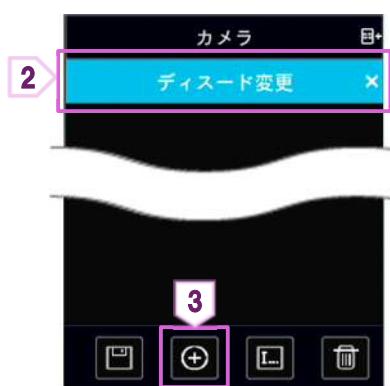


- ① モードとして設定したい画面モードとカメラを表示させます。

※画面モードは後から編集できません。



- ② 画面右上部の〈カメラ〉の右横にある をクリックし、[ディスプレイモード変更]をクリックします。



- ③ [カメラ]の下に追加された[ディスプレイモード変更]をクリックします。

- ④ 画面右下に表示された をクリックします。



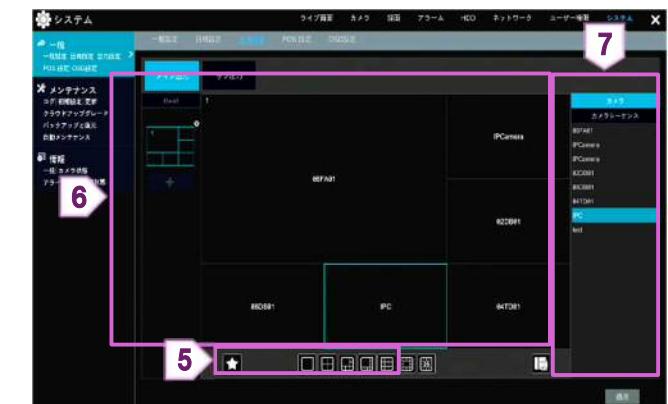
- ⑤ 任意のディスプレイモード名を入力し、[OK]をクリックします。



- ⑥ 〈ディスプレイモード変更〉に作成したディスプレイモード名が表示されます。

ディスプレイモード名をダブルクリックすると、プレビュー画面が切り替わります。

## ❖ 追加方法 ②



① 画面右下の → [設定]の順でクリックし、設定パネルを開きます。

② [システム]をクリックします。

③ 画面上部の[出力設定]をクリックします。

④ 画面右上の[+]をクリックし、画面下部の画面モードを選択します。

⑤ 画面下部の画面モードを選択します。

⑥ 分割画面の1つを選択します。

⑦ 画面右の<カメラ>または<循環表示グループ>から表示させるカメラをダブルクリックで追加します。

⑧ 各ウィンドウにカメラを追加したら、画面左下の をクリックします。

⑨ 任意のディスプレイモード名を入力し、[OK]をクリックします。

⑩ ライブ画面に戻ると<ディスプレイモード変更>に作成したディスプレイモード名が表示されます。ディスプレイモード名をダブルクリックすると、プレビュー画面が切り替わります。

#### 4.2.2. ディスプレイモードの編集

		保存	表示されているディスプレイモードのカメラを入れ替えた後にクリックすると、変更が保存されます。 ※画面分割モードの変更はできません。
		追加	表示されているプレビュー画面をディスプレイモードとして追加します。
		名前変更	選択中のディスプレイモード名を変更します。
		削除	選択中のディスプレイモードを削除します。

## 4.3. 循環表示

### 4.3.1. クイック循環表示

- ◆ 出力設定でパターンを作成していない場合に使用できます。
- ◆ <カメラ>に登録されているカメラが順番に表示されます。



- ① 循環表示させたい画面モードを選択し、画面下部の をクリックします。



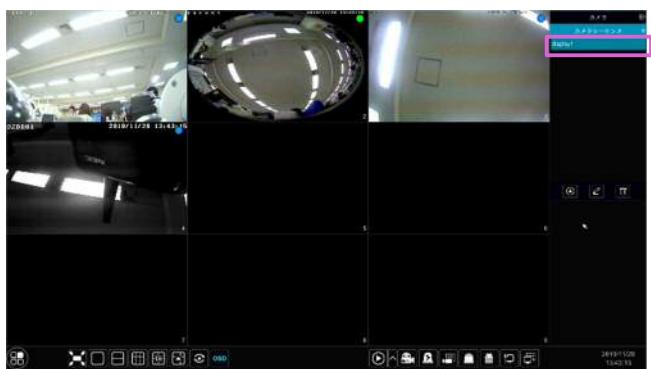
- ② 滞留時間を [ $\wedge$ ] [ $\vee$ ] で選択し、 をクリックするとクイック循環表示を開始します。



- ③ クイック循環表示を使用している間は、画面上部中央に が表示されます。

### 4.3.2. グループ循環表示

- ◆ 循環表示グループを作成している場合に使用できます。

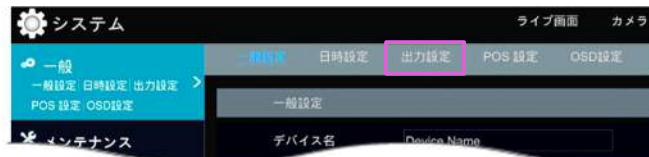


循環表示させたいウィンドウを選択し、<カメラシーケンス>の欄に表示されているグループをダブルクリックすると循環表示を開始します。

- ◆ 循環表示を止める場合は、該当ウィンドウ上で右クリックし、[画像遷移終了]をクリックします。

### 4.3.3. パターン循環表示

#### ❖ パターンの作成



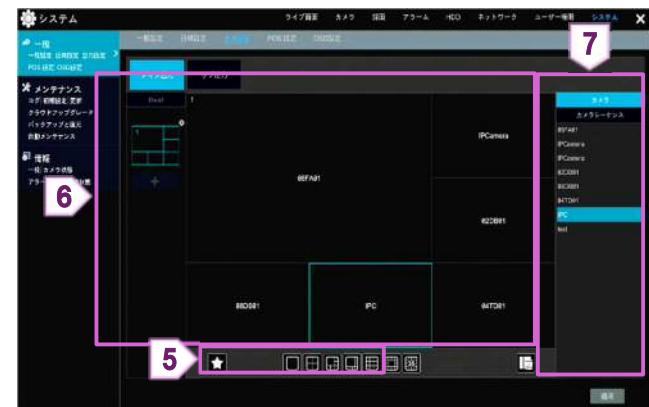
① 画面右下の [設定] → [設定] の順でクリックし、設定パネルを開きます。

② [システム] をクリックします。

③ 画面上部の [出力設定] をクリックします。



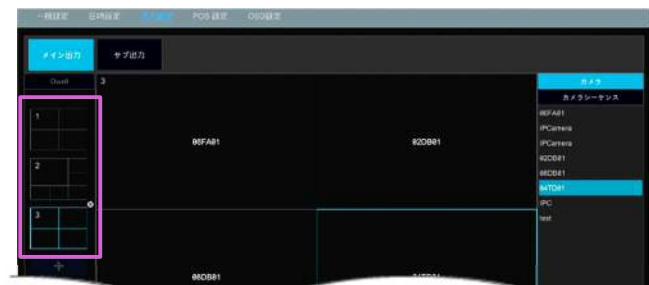
④ 画面右上の [+] をクリックし、画面下部の画面モードを選択します。



⑤ 画面下部の画面モードを選択します。

⑥ 分割画面の1つを選択します。

⑦ 画面右の〈カメラ〉または〈循環表示グループ〉から表示させるカメラをダブルクリックで追加します。各ウィンドウにこの作業を行います。



⑧ ④～⑦を繰り返し、パターンを作成していきます。



⑨ パターンを作成したら、画面右下の [適用] をクリックします。

### ❖ 作成したパターンの循環表示



① 画面下部の をクリックします。



② 滞留時間を [ $\wedge$ ] [ $\vee$ ] で選択し、 をクリックするとクリック循環表示を開始します。



③ クリック循環表示を使用している間は、画面上部中央に が表示されます。

## 4.4. 画像設定

- ◆ 設定パネルの[画像設定]をクリックします。



### 4.4.1. OSD 設定

カメラ名	OSD Name	OSD Time	日付形式	時間形式	アドレス
06FA01	オン	オン	年/月/日	24時間	10.151.151.101
IPCamera	オン	オン	年/月/日	24時間	192.168.2.107
IPCamera	オン	オン	年/月/日	--	192.168.2.109
02DB01	オン	オン	年/月/日	--	192.168.2.110
08DB01	オン	オン	年/月/日	--	10.151.151.105
04TD01	オン	オン	年/月/日	--	10.151.151.106
IPC					192.168.2.281
test					192.168.2.280

1	各カメラの OSD 表示の位置を設定できます。
2	追加されているカメラとその OSD 設定の一覧が表示されます。ここから変更も可能です。
3	設定を変更したら[適用]をクリックし、設定を保存します。



### ◆ 表示位置の調整

名前 OSD または時間 OSD が有効の場合、左図のように 1 の画像内に赤字の名前と日付が表示されます。これらをドラッグすることで、表示位置の調整が可能です。

#### 4.4.2. 画像設定



1 各カメラの画質設定を、映像を見ながらスケールバーで変更できます。

[詳細]：さらに細かい画質設定ができます。

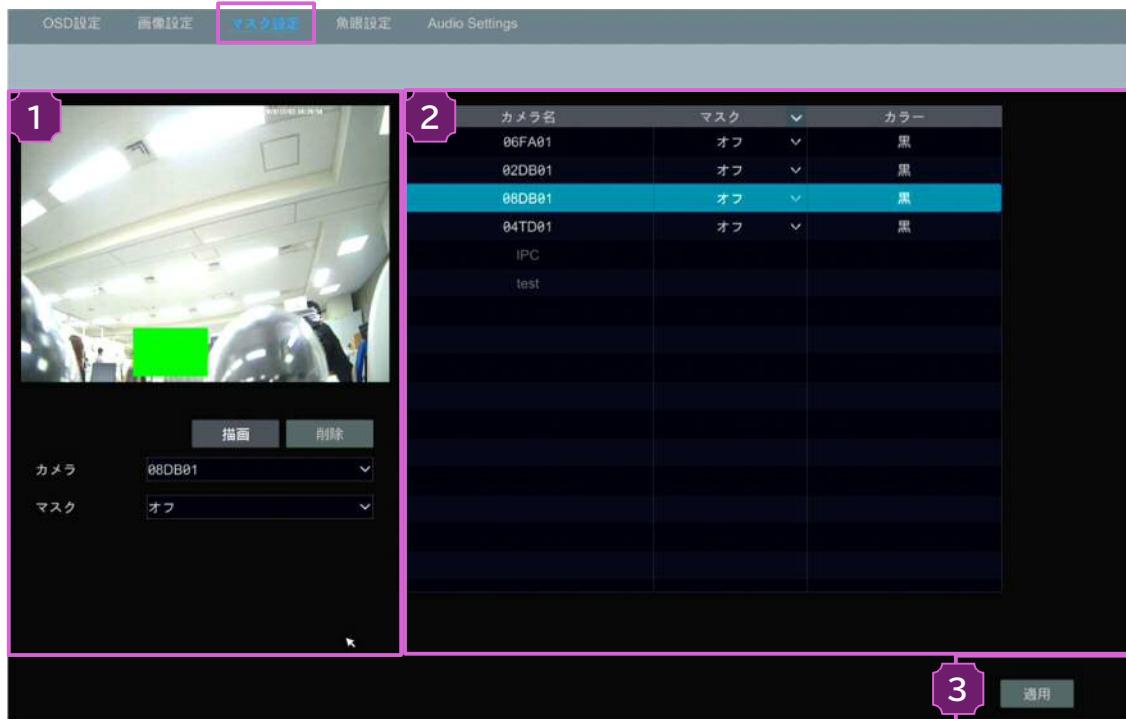
[初期値]：初期値の画質設定に戻すことができます。

2 追加されているカメラとその OSD 設定の一覧が表示されます。ここから変更も可能です。

：1の[詳細]と同様に、さらに細かい画質設定ができます。

- ◆ 各項目の説明については、【4.4.6 画像調整】をご参照ください。

#### 4.4.3. マスク設定



- 1 各カメラのマスク位置を設定できます。  
(マスク)を[オン]に設定します。[描画]をクリック後、画像上でドラッグし、マスク範囲を設定します。
- 2 マスク設定が利用可能なカメラとそのマスク設定の一覧が表示されます。
- 3 設定を変更したら[適用]をクリックし、設定を保存します。

#### 4.4.4. フィッシュアイ設定



- 1 対応カメラの魚眼モードに関する設定が変更できます。
- 2 追加されている対応カメラとその魚眼モード設定の一覧が表示されます。ここから変更も可能です。
- 3 設定を変更したら[適用]をクリックし、設定を保存します。

#### 4.4.5. オーディオ設定

The screenshot shows the 'Audio Settings' tab selected in the top navigation bar. On the left, there's a live video feed from a camera labeled '08DB01'. Below it are dropdown menus for 'カメラ' (08DB01), 'Audio Encode' (G711A), and 'Audio Type' (LIN). To the right is a table listing cameras with their current audio settings:

カメラ名	Audio Encode	Audio Type
06FA01	G711A	MIC
02DB01	G711A	LIN
<b>08DB01</b>	<b>G711A</b>	<b>LIN</b>
04TD01	G711A	LIN
IPC		
test		

At the bottom right is a large blue button labeled '適用' (Apply).

**1** 各カメラのオーディオ設定が変更できます。

**2** 追加されているカメラとそのオーディオ設定の一覧が表示されます。ここから変更も可能です。

**3** 設定を変更したら[適用]をクリックし、設定を保存します。

#### 4.4.6. 画像調整



##### ❖ 画像調整



① ライブ再生中のカメラのウィンドウ上でクリックします。

② ウィンドウの下に表示された をクリックします。

◆ 画面左に画像設定タブが表示されます。  
最上部の〈カメラ〉で調整するカメラを選択し、各項目のスケールバーで調整を行います。

[初期値]をクリックすると、全ての項目が初期値に戻ります。

画像調整の項目	
明るさ	カメラ映像の明るさレベルです。
コントラスト	最も明るい部分と最も暗い部分の明暗の差です。
彩度	カメラ映像の色の鮮やかさです。彩度を上げれば鮮やかになります。
色相	映像の合計色度に関連します。
シャープ	解像度レベルとシャープネスレベルに関連しています。
ワイドダイナミック	ワイドダイナミックレンジ(WDR)機能により、バックライト環境下でも鮮明な画質で再生できます。著しく明るい領域と著しく暗い領域が視野内にある場合、WDR は画像全体の明るさレベルのバランスを取り、鮮明な画像で再生します。
ノイズ除去	ノイズを減らし、画像をよりきれいにします。値を大きくすると、ノイズ低減効果は向上しますが、画像の解像度は低下します。
ホワイトバランス	屋内や屋外等の環境に合わせて色温度を自動的に調整します。
左右反転	現在の再生映像を水平方向に反転します。
上下反転	現在の再生映像を垂直方向に反転します。

### ❖ レンズ制御



- ◆ 画像設定タブ内の[レンズ制御]をクリックします。  
+ または - をクリックし、カメラレンズのズームやフォーカスを調整します。
- 画面下部の[保存]をクリックして設定を保存します。

レンズ制御の項目	
	+ / - をクリックして、画像を拡大/縮小します。
焦点モード	手動モードを選択した場合、「焦点調整」「1キー焦点」「デイナイトモード自動焦点切替」が使用可能です。自動モードを選択した場合、時間間隔の設定が使用可能です。
	+ / - をクリックして、焦点距離を増減します。
	1 クリックで、簡単に焦点を合わせます。
デイナイトモード自動焦点切替	有効にすると、カメラのデイナイトモード切り替え時に、レンズが自動的に焦点を合わせます。
切替間隔	レンズが自動で焦点を合わせる際の時間間隔です。間隔はドロップダウンリストで設定できます。

注:NVR に接続されているカメラのレンズが固定されている場合、レンズ制御機能は利用できません。

## 5. PTZ 機能



画面右上にこのマークが表示されているカメラは  
PTZ 機能が使用できます。  
※ズーム機能のみ使用可能なカメラにも表示されます。

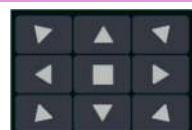
### 5.1. PTZ 制御画面



③ PTZ 制御画面を開きたいカメラが表示されている  
ウィンドウをクリックします。

④ ウィンドウの下に表示された をクリックしま  
す。

⑤ 右図のウィンドウが表示されます。



レンズの向きを移動させる  
ときに使用します。

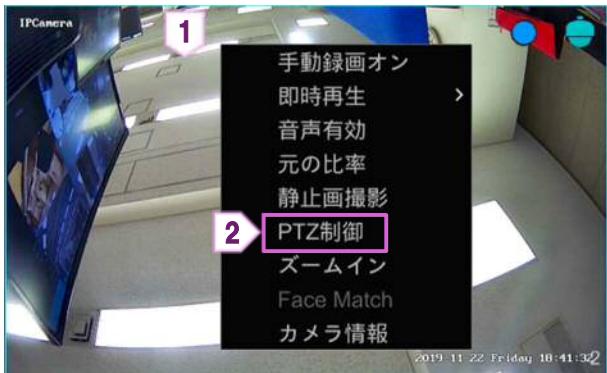


ズームやフォーカス等の調  
整時に使用します。



レンズの移動速度を変更し  
ます。

## 5.2. プリセットの設定



① PTZ 制御画面を開きたいカメラが表示されている  
ウィンドウの上で右クリックします。

② [PTZ 制御]をクリックします。

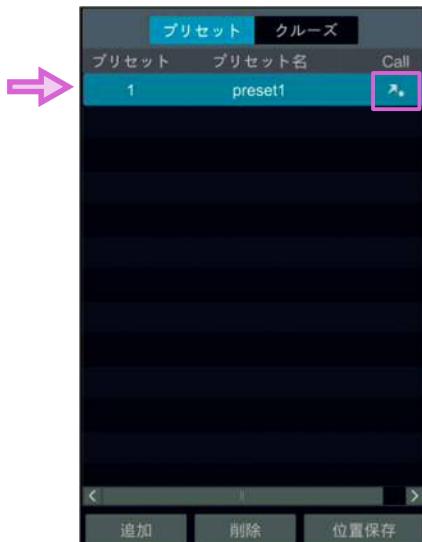


③ 画面右側にプリセットの設定画面が表示されます。  
コントロールパネルを操作し、設定したい位置を表  
示させます。

④ [追加]をクリックします。



⑤ <プリセット追加>画面が表示されたら、<プリセット>  
<プリセット名>を設定し、[OK]をクリックします。



⑥ 右図のようにプリセットが追加されたら完了です。  
プリセット名の右にある をクリックすると、プリ  
セットの位置へレンズが動きます。

※プリセットを削除したい場合

プリセットを選択後、[削除]をクリックします。

## 6. 録画とディスク管理

### 6.1. 録画設定

お客様ご自身で HDD をご用意された場合は、録画前に HDD をフォーマットしてください。

#### 6.1.1. モード設定

録画モードは、「自動設定」と「手動設定」の 2 種類があります。



③ 〈モード設定〉が表示されます。



### 6.1.2. 自動モードの種類

録画モードの〈モード〉を[自動]に設定した場合、以下の種類の録画モードが選べます。

- **動体検知録画**：動体検知作動時、動体検知録画が開始します。
- **センサー録画**：センサー検知作動時、センサー録画が開始します。
- **動体検知録画+センサー録画**  
動体検知またはセンサー検知作動時、動体検知/センサー検知録画が開始します。
- **Always(24/7)Record+動体検知録画**  
常時録画および、動体検知録画が有効になります。
- **Always(24/7)Record+センサー録画**  
常時録画および、センサー検知録画が有効になります。
- **Always(24/7)Record+動体検知録画+センサー録画**  
常時録画および、動体検知/センサー検知録画が有効になります。
- **Always(24/7)Record+動体検知録画+センサー録画+スマート検知録画**  
常時録画および、動体検知/センサー検知/スマート検知録画が有効になります。

#### ❖ 自動モードの追加

- ◆ 〈モード設定〉画面の〈録画モード〉下部にある[詳細]をクリックすると、自動モードの種類をカスタマイズして追加が可能です。



### 6.1.3. 自動モードの設定



① 自動モードの種類を 1 つ選択します。

- ② 設定ウィンドウが表示されたら、各カメラの〈ビデオエンコード〉〈解像度〉〈FPS〉〈ビットレート〉および〈音声〉を設定し、[OK]をクリックします。[適用]をクリックし設定を保存します。



画像調整の項目	
エンコード	接続された IP カメラが H.265 をサポートしている場合、H.265 と H.264 が利用可能です。 もしくは、H.264 のみになります。
解像度	解像度が高いほど、画像は鮮明になります。
FPS	フレームレートが高いほど、ビデオはより滑らかになります。ただし、より多くの保存スペースが必要となります。
ビットレート	CBR と VBR が選択できます。 CBR:映像にどれだけ変化が見られても、圧縮ビットレートが一定に保たれます。 VBR:映像の変化に応じて圧縮ビットレートが調整されます。たとえば、動きの少ない映像の場合、ビットレートは低い値に維持され、ネットワーク帯域幅を最適化できます。
画質	VBR を選択した場合、画質を選択する必要があります。選択した画像の品質が高いほど、より多くのビットレートが必要になります。
音声	音声の有効/無効の設定ができます。

#### 6.1.4. 手動モード

手動モードを選択するとカメラのエンコード・パラメータと録画スケジュールを1台ずつ設定する必要があります。詳細については、【6.2 スケジュールの設定】を参照してください。

### 6.1.5. 詳細設定



- ① 〈録画〉画面を開き、上部の[詳細設定]をクリックします。
  - ② 〈循環録画〉と録画ストリームを設定します。  
※循環録画:ディスク容量がいっぱいになった際、いちばん古い録画データが削除され、最新の録画データが上書きされます。
  - ③ 各カメラの〈検知前録画時間〉〈検知後録画時間〉〈有効期限〉を設定します。
  - ④ [適用]をクリックして設定を保存します。

カメラ録画パラメーターの項目	
検知前録画時間	検知されたタイミングから遡って録画する時間を設定します。
検知後録画時間	検知が終了した後の録画する時間を設定します。
有効期限	録画したデータの有効期限を設定します。設定した日付が期限切れになった場合、録画データは自動的に削除されます。

## 6.2. スケジュール設定



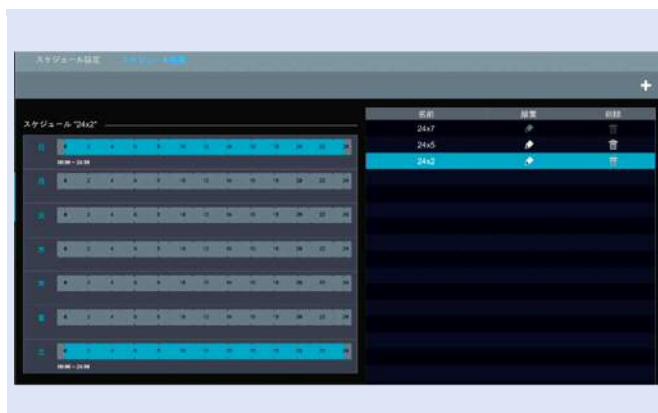
- ◆ スケジュールを設定は【6.1.1 モード設定】で、[手動設定]に変更してからご利用ください。

- ① 画面左下の をクリックし、[設定]をクリックします。
- ② [録画スケジュール]をクリックします。

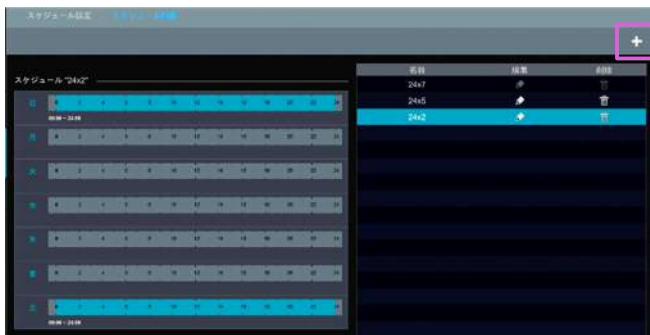
### 6.2.1. スケジュール追加



- ① [スケジュール編集]をクリックします。

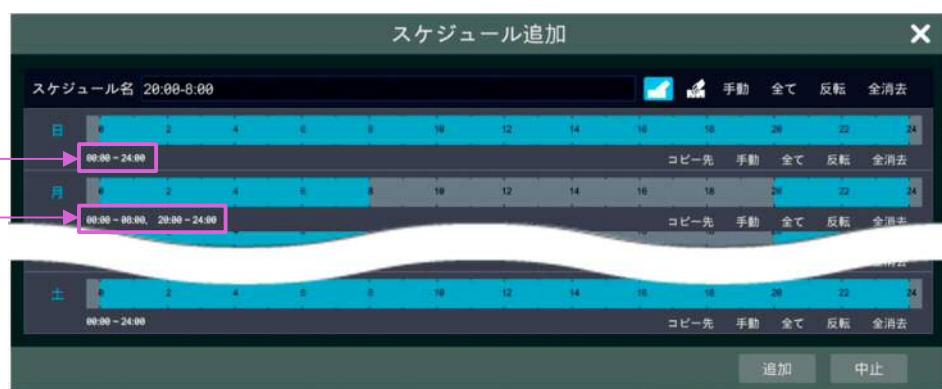


- ◆ <24×7><24×5><24×2>は初期設定のスケジュールです。  
<24×5>と<24×2>は編集や削除が可能です。
- ◆ スケジュール名をクリックすると、画面左側にスケジュール情報が表示されます。  
表示されている 7 つの行は 1 週間の日～土を表し、各行は 1 日の 24 時間を表します。  
青は選択された時間を表し、灰色は選択されていない時間を表します。



- ② 画面右上の をクリックします。

## ❖ スケジュール追加画面について



	<b>追加ボタン</b> カーソルドラッグで有効時間を設定できます。		<b>削除ボタン</b> カーソルドラッグで無効時間を設定できます。
手動	時刻設定画面が開きます。	全て	全ての日時が有効に設定されます。
反転	表示されている有効/無効が反転します。	全消去	全ての日時が無効に設定されます。
コピー先	他の曜日に同じスケジュールをコピーします。		



### ◆ スケジュール時間のドラッグ追加

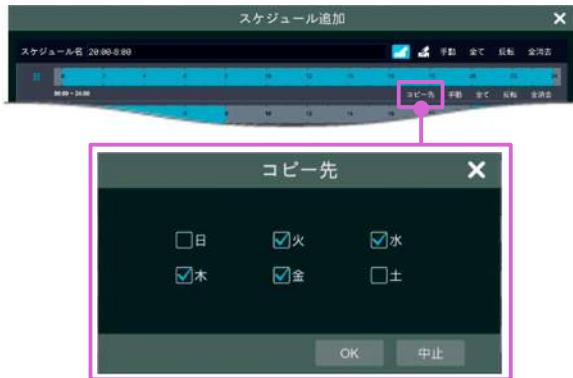
- ① 画面右上の をクリックします。
- ② カーソルをドラッグし、スケジュールを有効にする時間を設定します。

### ◆ スケジュール時間のドラッグ削除

- ① 画面右上の をクリックします。
- ② カーソルをドラッグし、スケジュールを無効にする時間を設定します。

### ◆ スケジュールの時間手動追加

- ① 既にスケジュールを設定した曜日の右下にある [手動] をクリックします。
- ② をクリックし、〈開始時間〉と〈終了時間〉を設定し、[OK] をクリックします。



#### ◆ スケジュールのコピー

- ① 既にスケジュールを設定した曜日の右下にある[コピー先]をクリックします。
- ② 同じスケジュールをコピーする曜日を選択し、[OK]をクリックします。



#### ◆ 複数曜日スケジュールの手動追加

- ① 画面右上の[手動]をクリックします。
- ② をクリックし、〈開始時間〉と〈終了時間〉を設定します。
- ③ 適用する曜日を選択し、[OK]をクリックします。

### 6.2.2. 録画スケジュールの設定



- ① 画面左下の をクリックし、[設定]をクリックします。

- ② [録画スケジュール]をクリックします。

- ③ <センサー録画スケジュール><動体検知録画スケジュール><スマート検知録画スケジュール><連続録画スケジュール>の各スケジュールを設定します。<無し>を選択すると、スケジュールは実行されません。
- ④ 左下の[適用]をクリックすると、設定が保存されます。

スケジュール選択		スケジュール編集			
カメラ名	センサー録画スケジュール	動体検知録画スケジュール	スマート検知録画スケジュール	連続録画スケジュール	
TechTeam06fa	<無し>	<無し>	<無し>	<無し>	<無し>
08DB01	<無し>	<無し>	<無し>	<無し>	<無し>
04TD01	<無し>	<無し>	<無し>	<無し>	<無し>

### 6.2.3. 録画スケジュールの編集



◆ スケジュールを設定は【6.1.1 モード設定】で、[手動設定]に変更してからご利用ください。

① 画面左下の をクリックし、[設定]をクリックします。

② [録画スケジュール]をクリックします。

③ [スケジュール編集]をクリックします。

④ 各スケジュール欄の をクリックすると、編集できます。



## 6.3. 録画モード

### 6.3.1. 手動録画



- ① プレビュー画面の左下にある をクリックして有効状態にします。



:手動録画有効



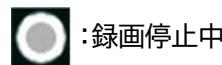
:手動録画無効



- ② 手動録画したいカメラのプレビュー画面上でクリックし、ツールバーを表示します。

- ③ をクリックすると手動録画が開始されます。

- ④ を再度クリックすると手動録画が停止します。



:録画停止中



:録画中

### 6.3.2. スケジュール録画

スケジュールに従って自動的に録画を開始/停止します。各カメラの連続録画スケジュールを設定します。詳細は、【 6.2. スケジュール設定 】を参照してください。

### 6.3.3. 動体検知録画

設定されたスケジュール時間内に動く物体をが表示されると、動体検知録画を開始します。設定手順は次のとおりです。

- ① 【 6.2. スケジュール設定 】で、各カメラの動体検知録画のスケジュールを設定します。
- ② 動体検知設定を有効にし、各カメラの動体検知領域を設定します。詳細は、【 ■.■.■ モーション設定 】を参照してください。

上記の設定を完了すると、カメラは動体検知録画を開始します。

### 6.3.4. センサー録画

- ① 【 6.2. スケジュール設定 】で、各カメラのセンサー録画のスケジュールを設定します。
- ② センサーの NO/NC タイプを設定します。センサーラームを有効にし、[録画]となっていることを確認し、設定します。詳細は、【 ■.■.■ センサーラーム 】を参照してください。

### 6.3.5. スマート検知録画

- ① 【 6.2. スケジュール設定 】で、各カメラのスマート検知録画のスケジュールを設定します。
- ② スマート検知(オブジェクト検出、例外、トリップワイヤ、または侵入)を有効にし、各カメラの警告面または警告エリアを描画します。詳細については、【 ■■■ ■ スマートイベント 】を参照してください。  
上記の設定が完了すると、カメラはスマート検知録画を開始します。※対応カメラのみの機能です。

## 6.4. HDD 管理

お客様ご自身で HDD をご用意された場合は、録画前にこちらから HDD をフォーマットしてください。

### 6.4.1. HDD 管理

- ① 画面右下の をクリックし、  
[設定]をクリックします。
- ② [HDD 管理]をクリックするとします。〈HDD 管理〉が表示されます。  
ここでは NVR のディスク番号やディスク状態などを確認できます。



#### ❖ フォーマットの方法

- ◆ 〈HDD 管理〉画面で、各 HDD の右に表示されている[初期化]をクリックすると HDD をフォーマットします。

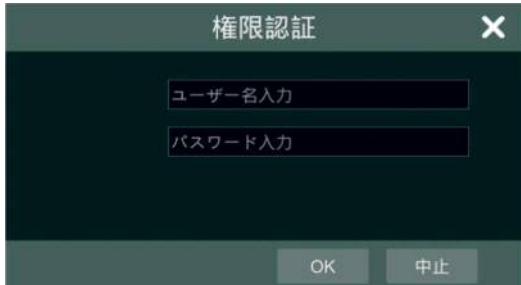
HDD								
HDD管理								
HDD 設定								
HDD	容量[GB]	空き容量[GB]	シリアルNo.	HDDモデル	状態	タイプ	録画期間	操作
HDD1	931	0	Z9C8F22Y	ST1000VX005-2EZ102		RW	オーディオ...	2019/10/05~2019/10/11 初期化
HDD2	931	0	WD-WCC4J6ESPPCX	WDC WD10PURZ-85U...		RW	オーディオ...	2019/09/30~2019/10/11 初期化

#### ■ 補足

1. 新しい HDD を使用する場合 → 使用前にフォーマットしてください。
2. 他の NVR で使用していた HDD を使用する場合
  - 以前の NVR と同モデルの NVR を使用する場合  
→ NVR の構成ファイルをインポートするか、HDD をフォーマットしてください。
  - NVR のモデルが以前のものと異なる場合  
→ HDD をフォーマットしてください。

## ❖ データの暗号化

- ① 左下に表示された[データ暗号化]をクリックします。



- ② 〈権限認証〉画面が表示されたら、NVR にログインする際に使用するユーザー名とパスワードを入力します。  
※HDD 管理のアクセス許可が有効になっているユーザー名をご利用ください。



- ③ 暗号化する HDD を選択し、〈パスワード〉と〈パスワード確認〉に同じ値を入力します。  
④ [データ暗号化]をクリックします。

HDD のデータ暗号化を行なった後は、ロックが解除されない限りこの HDD を他の NDR で読み取ることはできません。

## ❖ HDD のロック解除

暗号化された HDD が異なる NVR から移されるとロック状態になります。その場合、ロックされた HDD を選択し、[ロック解除]をクリックすることができます。

データ暗号化の際に設定したパスワードを入力すると、ステータスが〈読み取り専用〉となります。ディスクのデータを読み取ることはできますが、書き込みは行えません。

#### 6.4.2. 記録モードの構成

全部で4つの HDD グループがあります。

HDD グループを使用すると、カメラを HDD に対応させることができます。

グループ内のカメラの録画データは同じグループ内の HDD に保存されます。

E-SATA 対応の NVR の場合、E-SATA 録画に対応しています。

##### ❖ グループへの追加



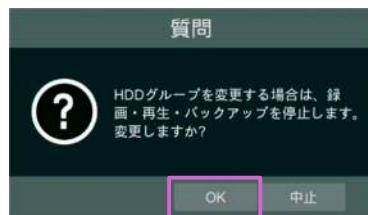
① 追加したい HDD グループの番号をクリックします。

② HDD またはカメラの欄にある **[+]** をクリックします。

③ グループに追加したい HDD またはカメラを選択し、[追加]をクリックします。

④ [OK]をクリックすると追加完了です。

##### ❖ グループからの解除



① グループから解除したい HDD またはカメラにカーソルを合わせ、右に表示された **[X]** をクリックします。

② [OK]をクリックすると解除完了です。  
解除された HDD またはカメラはグループ1に戻ります。

### 6.4.3. HDD 情報と S.M.A.R.T.情報



#### ◆ HDD 情報ビュー

各 HDD の容量、状態、グループ、録画期間等が確認できます。

#### ◆ S.M.A.R.T.情報

選択した HDD の情報が即座にチェックされ、一覧で表示されます。

#### ❖ S.M.A.R.T.情報画面例

HDD S.M.A.R.T.情報						
HDD	HDD5					
シリアルNo.	Z9C8F22Y					
HDDモデル	ST1000VX005-2EZ102					
温度	29					
パワーオン時間(日)	142					
S.M.A.R.T.状態	正常					
ID	属性	値	最悪値	しきい値	生データ	状態
0x01	Read Error Rate	83	64	6	222369246	正常
0x03	Spin-Up Time	97	97	0	0	正常
0x04	Start/Stop Count	100	100	20	16	正常
0x05	Reallocated Sector Count	100	100	10	0	正常
0x07	Seek Error Rate	72	60	45	19896169	正常
0x09	Power-On Hours	97	97	0	3400	正常
0x0a	Spin Retry Count	100	100	97	0	正常
0x0c	Power Cycle Count	100	100	20	16	正常
0xb8	End-to-End error	100	100	99	0	正常
0xbb	Reported Uncorrectable Errors	100	100	0	0	正常
0xbc	Command Timeout	100	100	0	0	正常
0xbd	High Fly Writes	100	100	0	0	正常
0xbe	Airflow Temperature	71	62	40	538640413	正常
0xc1	Load Cycle Count	100	100	0	152	正常

## 7. 再生とバックアップ

### 7.1. 即時再生



① 予め画面右下部の の 部分をクリックし、デフォルトの再生時間を設定します。



② 録画再生をしたい映像の上でクリックし、ツールバーを表示させます。



③ をクリックすると①で設定した再生時間から録画再生を開始します。

一時停止ボタン

音声有効/無効の切替ボタン

スナップショットボタン

録画再生を閉じ、プレビュー画面に戻る

## 7.2. 再生インターフェース



- ◆ プレビュー画面下部の をクリックします。もしくは、 をクリックし、[再生]をクリックします。



画面右側のパネルには、チャンネル番号と録画の種類によって色分けされた録画データバーが表示されます。

録画データバーの左に、時刻が表示されます。録画データバーを横切るラインは再生時間を表し、ドラッグで範囲選択が可能です。

追加されているカメラは、録画再生画面で自動的に再生します。録画再生するカメラを手動で追加することもできます。追加したい場合は、再生ウィンドウで [+] をクリックしてください。

システム上、最大 16 台のカメラを同時再生できます。

### ❖ エリア1

ボタン	説明
	エリア2を開きます。
	全画面で表示されます。再度クリックすると元に戻ります。
	画面分割モードを変更します。
	停止、巻き戻し、一時停止ボタン。
	倍速再生ボタン。 でスロー再生、 で倍速再生ができます。
- 30S +	スキップボタン。 で 30 秒前に、 で 30 秒後にスキップできます。

	イベントリスト/タグリストボタン。手動/センサー/スマート検知/動体検知/スケジュールのイベント録画とタグ情報が一覧で表示されます。
	バックアップボタン。画面右側の録画データバー上で期間とカメラをドラッグで選択後、ボタンクリックで録画のバックアップができます。
	バックアップ状態ボタン。バックアップの進捗状態が確認できます。
	戻るボタン。プレビュー再生画面に戻ります
	画面全体の動体検知録画を検索できます。
	長方形を描画し、予め設定された範囲の動体検知録画を検索できます。
	線を描画し、そのラインを横切る録画を検索できます。
	四角形を描画し、その範囲の録画を検索できます。
	スマート再生設定。スマート再生の設定を変更できます。

## ❖ エリア2

画面左下のスタートボタンをクリックするとエリア2が表示されます。

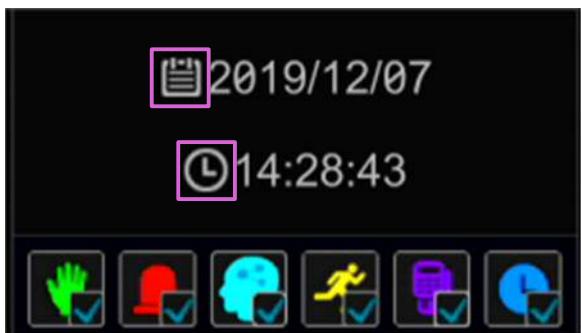
ボタン	説明
	スマート検知画面に移動します。
	録画検索とバックアップの画面に移動します。詳細は、【 7.4 録画検索、再生、バックアップ 】を参照してください。
	プレビュー画面に移動します。詳細は【 4 ライブ表示 】を参照してください。

## ❖ エリア3

録画再生ウィンドウ上でクリックするとエリア3が表示されます。

ボタン	説明
	エリア3のツールバーを移動できます。
	クリックで音声の有効/無効を切り替えます。
	クリックでスナップショットを撮影します。
	クリックすると、ズーム画面に移動します。
	クリックでタグを追加します。追加したタグを検索して録画再生ができます。
	クリックで再生カメラの切替ができます。
	クリックで再生カメラを閉じます。

## ❖ エリア4



- ① をクリックし、日付を選択します。
- ② をクリックし、時刻を設定すると、その時間から録画再生が始まります。

	手動録画
	センサー録画
	スマート録画
	動体検知録画
	スケジュール録画

## ❖ エリア5



	タイムスケールのズームイン
	タイムスケールのズームアウト
	24 時間の比率に戻る



◆ 録画データバーの色	
(緑)	手動録画
(赤)	センサー録画
(黄)	動体検知録画
(青)	スケジュール録画
(水色)	スマート検知録画

- ◆ 録画データバーにカーソルを合わせると、右下にツールバーが表示されます。
- ◆ 録画データバー上で、ドラッグやホイールの操作をすると、タイムスケールの上下遷移ができます。
- ◆ 録画データバーは、バーの色によって録画の種類を示します。
- ◆ 録画データバーをクリックすると、その時刻から再生が始まります。

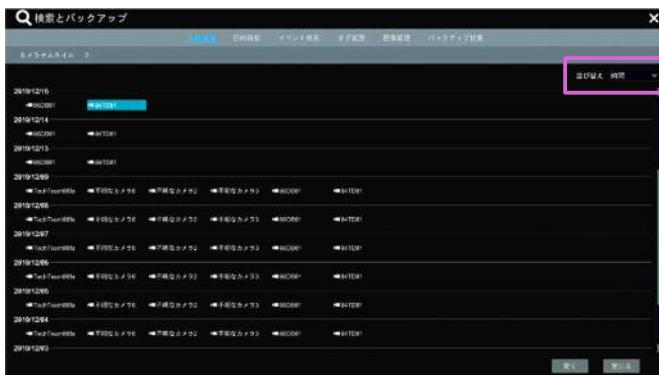
## 7.3. 録画検索、再生とバックアップ

録画データとスナップショットは、ネットワーク、USB、または e-SATA(一部のモデルでのみ対応)を介してバックアップができます。バックアップデバイスのフォーマット形式は FAT32 である必要があります。



- ◆ をクリックし、[検索とバックアップ]をクリックします。

### 7.3.1. タイムスライス画像検索による再生とバックアップ

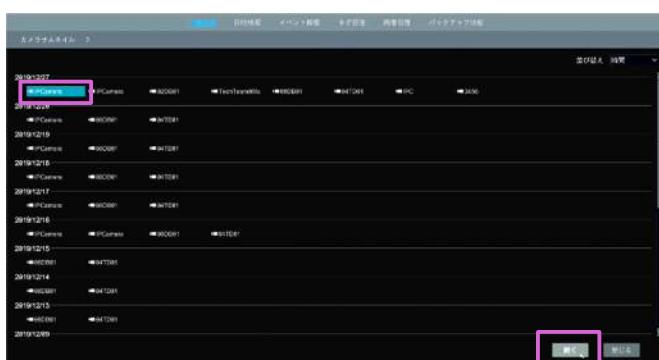


- ◆ 表示モードには、時間別とカメラ別の 2 種類があります。  
画面左上の〈並び替え〉で切り替えできます。

時間別モードでは、最大 64 個のカメラサムネイルを表示できます。

カメラのサムネイル数が 64 を超える場合、カメラはサムネイルではなくカメラ名で表示されます。最大 196 個のカメラ名を表示できます。

カメラ名の数が 196 を超える場合、時間別モードは無効になり、カメラ別モードのみが使用可能になります。



- ① カメラを 1 つ選択し、画面右下の[開く]をクリックします。ダブルクリックでも開けます。



- ② 画像ボックスをクリックし、画面左側の再生ボックスで録画を再生します。



- ③ 録画データバーをドラッグで範囲選択し、[バックアップ]をクリックします。

- ④ 〈録画バックアップ〉が開いたら、〈デバイス名〉〈バックアップ形式〉〈パス〉を選択し、[バックアップ]をクリックします。

注:録画を「個人用」でバックアップした場合は、RPAS プレーヤーを USB デバイスに同時にバックアップします。  
「個人用」形式の録画データは、RPAS プレーヤーでしか再生できません。

### 7.3.2. 日時検索による再生とバックアップ



- ① 画面上部の[日時検索]をクリックします。
- ② <カメラ画像>欄のウィンドウ内にある[+]をクリックします。
- ③ 再生またはバックアップしたいカメラを選択し、[追加]をクリックします(最大 16 台)。

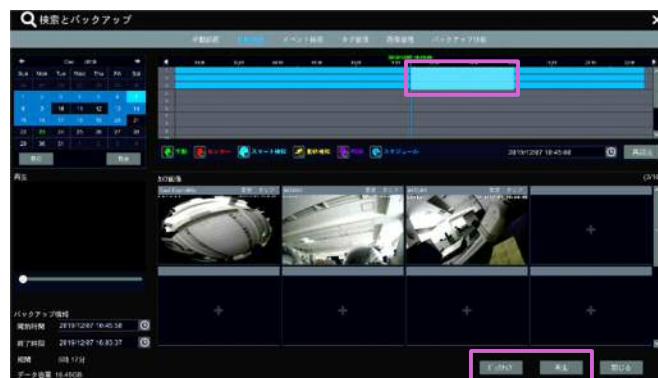
※一度追加したカメラを変更するには、ウィンドウの右上に表示された[変更]を、削除する場合は[クリア]をクリックします。



- ④ 追加したカメラのウィンドウをクリックし、画面左の再生ボックスで録画を再生します。
- ⑤ 画面左上カレンダーで日付を設定し、画面上部の録画スケールバーもしくは をクリックし、時間を設定します。



- ⑥ 録画スケールバーをドラッグで範囲選択し、画面右下の[再生]または[バックアップ]をクリックします。  
※画面左下の[バックアップ時間設定]でも、開始時間と終了時間を設定できます。



### 7.3.3. イベント検索による再生とバックアップ



- ① 画面上部の[イベント検索]をクリックします。
- ② 画面左上の をクリックし、開始時間及び終了時間を設定します。
- ③ 画面左のカメラ一覧より、検索したいカメラを選択します。すべてのカメラを選択する場合は<全て>にチェックを入れます。
- ④ 画面左下の[検索]をクリックすると、検索結果が画面右に表示されます。
- ⑤ リスト内の をクリックすると、別ウィンドウで録画を再生します。  
ファイルを1つ選択し、画面右下の[再生]をクリックしても、録画再生ができます。
- ⑥ 1つのデータをバックアップする場合は をクリックします。  
複数のデータをバックアップする場合は、負数ファイルを選択し、画面右下の[バックアップ]をクリックします。

### 7.3.4. タグ検索による再生とバックアップ

- ◆ 録画データにタグを追加した場合のみ、タグ検索で録画再生を行えます。



- ◆ 画面上部の[タグ管理]をクリックします。
  - : 再生ボタン
  - : タグ名編集ボタン
  - : 削除ボタン

#### ◆ タグの追加方法

- ① 録画再生画面を表示し、再生中のウィンドウ上でクリックします。
- ② タグを追加したいタイミングでツールバーに表示された をクリックし、タグを追加します。



### 7.3.5. 画像管理



- ◆ 画面上部の[画像管理]をクリックします。  
撮影されたスナップショットの一覧が表示されます。
- ◆ をクリックすると画像が表示されます。

■ 画像管理画面		
ボタン	名称	機能
	ブラウザ	選択したスナップショットを画像表示画面で開きます。
	出力	選択したスナップショットを出力します。
	削除	選択したスナップショットを削除します。

■ 画像表示画面		
ボタン	名称	機能
	出力	表示されているスナップショットを出力します。
	前の画像	ひとつ前の新しい画像を表示します。
	再生	画像を順番に自動再生します。
	次の画像	ひとつ後の過去の画像を表示します。
	削除	表示されているスナップショットを削除します。

### 7.3.6. バックアップ状態の表示



- ◆ 画面上部の[バックアップ状態]をクリックします。  
※または、再生画面の右下にある をクリックしてもバックアップの状態が表示されます。

## ❖ お問い合わせについて

Secula 製品ご購入後のご質問は下記にて対応しております。

※ 非正規出荷品(Secula シリーズ)以外の場合はお答えいたしかねますので、予めご了承ください。

※ 故障時の修理につきましては、お買い上げいただいた販売店様にお尋ねください。

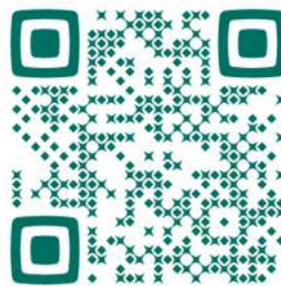
▶ Secula シリーズ ホームページ



<https://secula.solidcamera.net>

- ・ソフトウェアまたは資料等のダウンロード
- ・よくあるご質問

▶ ソリッドカメラ ホームページ



<https://www.solidcamera.net>

▶ お問い合わせ窓口

Secula サポート専用ダイヤル

**0120-223-323**

受付時間：午前 9 時～午後 6 時  
(土曜・日曜・祝日、夏季休暇・年末年始を除く)

お問い合わせフォーム





4 / 8 / 16 / 32 CH

## PoE NVR 取扱説明書 〔基本操作編〕

2021年3月18日 第5版発行

